

2013 年度研究大会 プログラム固まる 10 月 5 日(土)・6 日(日)津田塾大学で実施

2013 年の研究大会は、10 月 5 日 (土)・6 日 (日) に津田塾大学小平キャンパス (東京都小平市) にて実施されます。今回は JSSEES 側の大会開催校および事務局が担当します。研究大会プログラム (予告版) を送付いたしましたので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。研究大会の追加情報に関しては、随時、学会ウェブサイトを通じてご案内いたします。

1. 共通論題テーマ:「ロシア・東欧における人と生活、境界線」

共通論題は、第 1 セッションの研究報告と第 2 セッションのパネル・ディスカッションの二部構成となり、若手からベテラン会員まで総勢 10 名が登壇する豪華な布陣となっております。

ロシア東欧学会は、この間、体制転換 20 年、ソ連崩壊 20 年、政権政党におけるリーダーシップなど、かなり政治経済のハードな分析を何年か積み重ねてきた。しかし、体制転換とグローバル化の広がりの中で、時代を徹底して変わるもの変わらないもの、現状への違和感や問題点など、もう少し人そのものの生き方や生活、社会や文化・文学など内面をも含めて分析する必要があるのではないか、という問いが出された。故に、今年の理事会では、「ロシア東欧における人と生活、境界線」というテーマが取り上げられることになった。特にこの間、重視されながらも、なかなか取り上げられる機会のなかった、文学、文化、社会や言語、あるいはアイデンティティなど人と生活の深い部分に光を当て、生き方や考え方の問題を問い直す共通論題及びパネルになればと考える。 (2013 年研究大会企画委員長: 羽場久美子 青山学院大学)

2. 自由論題報告

自由論題報告も、例年通り、政治・外交、経済・社会、文学・文化の各領域から成る 3 つの分科会で構成され、計 10 件の研究報告が予定されています。自由論題報告を行う若手会員への旅費等の助成が継続されたことから、今年も多く of 若手会員からの応募がありました。

3. その他

遠方からお越しの方に配慮するため、今年度より、初日の開始時間を 13 時に変更しました。また、十分な報告と討論、質疑ができるよう、分科会の時間も拡充しました。学会ウェブサイトにおけるオンライン参加登録は 9 月 20 日(金)が締め切りとなっております。昼食弁当や懇親会のお申し込みに加えて、報告要旨集や名札などを準備する関係から、事前の参加登録をお願いしております。また、例年通り、学会ウェブサイトにて報告ペーパーを掲示いたします。事前にダウンロードの上、当日、ご持参いただきますようお願い申し上げます。

『ロシア・東欧研究』投稿募集中 締め切りは9月15日

論文、研究ノート、書評の原稿を募集しています。応募締め切りは9月15日、原稿提出期限は11月末日です。研究大会における自由論題報告者のみならず、多くの会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。また、投稿時点において40歳未満の方は、自動的に若手研究者奨励賞（賞状、副賞5万円）の選考対象となります。執筆要領については、学会HPまたは学会誌巻末の「投稿規程・執筆要領」をご覧ください。

学会誌『ロシア・東欧研究』第41号（2012年版）が刊行されるとともに、第40号（2011年版）が電子ジャーナル化されました。最新号を除いた1972年の創刊号から、日本最大級の総合電子ジャーナル・プラットフォームJ-STAGEにて電子アーカイブ化が完了しております。

編集委員会からの提案により、学会誌に掲載予定の書評は、学会ウェブサイトにて先行掲示を行うこととなりました。既に、1件の書評をアップしておりますので、ぜひご覧ください。また、書評用の書籍は、事務局ではなく、編集委員会宛に直接ご送付いただきますようお願いいたします。ただし、書評として取り上げるかどうかは、編集委員会の判断によります。

問い合わせ・申込み先

ロシア・東欧学会 会誌編集委員会

〒239-8686 横須賀市走水1-10-20 防衛大学校外国語教育室

角田安正 研究室気付

E-mail : tunoda@nda.ac.jp

2013年度第1回理事会の議事録より

日時：2013年7月13日（土）14:00～16:30

場所：上智大学2-510教室

出席者：家本、五十嵐、岩下、上野、宇山、大串、大中、小澤、柴、志摩、下斗米、杉浦、田畑、月村、角田、富山、袴田、蓮見、羽場、浜、林、兵頭、藤本、松里、溝端、六鹿、ヨコタ村上、横手、吉井（五十音順、敬称略）

- 配付資料：1. 理事会出欠表
2. 2012年度決算・監査報告
3. 入退会者の承認、研究奨励賞の選考
4. 会誌編集委員会からの提案
5. 会則・会費規程の見直し
6. 自由論題報告の応募状況

1. 事務局報告(兵頭事務局長、防衛研究所)

- (1) 2012 年度の決算および会計監査が終了した旨報告された。
- (2) 入会希望者(6名)、退会希望者(6名)、休会希望者(1名)が了承された。
- (3) 研究奨励賞の選考が開始されたことが報告された。
- (4) ニュースレター第 26 号が 5 月末に発行されたことが報告された。
- (5) 今秋、会員名簿が発行されることが報告された。

2. 会誌編集委員会報告(角田編集委員長、防衛大学校)

- (1) 会誌第 41 号(2012 年版)の刊行および次号の編集状況が報告された。
- (2) 会誌発行前に書評を学会 HP に掲示することが提案され、了承された。

3. 広報委員会(富山広報委員長、事業創造大学院大学)

- (1) 広報委員として、大中真(桜美林大学、理事)、岡田美保(日本国際問題研究所、ニュースレター担当)、浜由樹子(津田塾大学、理事)、横川和穂(神奈川大学、調整中)、ヨコタ村上孝之(大阪大学、理事)の各会員が選任された。
- (2) 学会フェイス・ブックを立ち上げることが提案され、了承された。

4. 会則・会費規程の見直し(兵頭事務局長、防衛研究所)

会則・会費規程の一部が形骸化していること、会則・会費規程に規定されていない会員区分があること、会則と会費規程の整合性が取れていないことから、検討委員会を立ち上げて会則・会費規程の見直しを行うことが了承された。

5. 2013 年度研究大会

- (1) 羽場企画委員長より、共通論題の企画案が提示され、人選などを進めていくことが報告された。
- (2) 10 件の自由論題報告の応募が承認されるとともに、討論者が選考された。

6. 2014 年度研究大会

岡山大学での実施が決定されるとともに、大会開催校の田口雅弘会員が理事に就任することが承認された。

7. ICCEES 幕張大会への参加料補助

2015 年に予定されている国際中・東欧研究学会(ICCEES)の幕張大会で報告を行う若手会員等に対して、総額 100 万円程度の参加料を補助することが了承され、今後、事務局が細部を検討していくことが確認された。

新入会員(敬称略、申し込み順)

氏名	所属	専門分野	推薦者(署名順)	
菅原祥	日本学術振興会特別研究員(PD)	社会学、映画研究	上野俊彦	兵頭慎治
吉村貴幸	青山学院大学大学院国際政治経済学研究科博士前期課程	現代ウクライナ政治	羽場久美子	兵頭慎治
生熊源一	北海道大学大学院文学研究科修士課程	現代ロシア芸術	望月哲男	石川晃弘
有泉和子	東京大学史料編纂所学術支援専門職員	国際関係論、日露関係史	横手慎二	沼野充義
笠原孝太	日本大学国際関係学部助手	日ソ・日露関係史	石郷岡建	大西富士夫

事務局からのお知らせ

1. 2014 年度研究大会は岡山大学にて

研究大会は、東日本と西日本で交互に開催しておりますが、2014 年度研究大会を岡山大学津島キャンパス（岡山市北区）で実施することが決まりました。開催日は、2014 年 10 月 4 日(土)、5 日(日)で調整中です。

2. 2013 年度年会費納入のお願い

本年度の年会費をお納めいただけていない場合は、お早目の納入をお願い申し上げます。ゆうちょ銀行以外の他行（海外を含む）からご送金いただくことも可能ですが、その場合には送金情報にお名前をお入れください。所属大学名で送金されても、同一大学に複数の会員がおられる場合には、ご本人を特定することができません。年会費の納入に関して、何かご不明の点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

3. 会員名簿の発行

8 月 1 日現在の登録情報に基づき、会員名簿を発行しました。登録情報の変更は、ウェブサイトやメールなどで随時受け付けております。また、当学会の会員数が、緩やかな減少傾向にあります。会員名簿に記載されていない方で、ロシア・東欧研究にご関心がある方に対して、ご入会をお勧めいただけますと幸いです。

4. ICCEES 幕張大会への参加料補助

2015 年 8 月に予定されている国際中・東欧研究学会(ICCEES)の幕張大会で報告を行う若手会員等に対して、総額 100 万円程度の参加料を補助することが決まりました。対象および内容など、細部は今後検討されます。

5. 学会フェイス・ブックの立ち上げ

広報委員会の提案により、近く学会フェイス・ブックを立ち上げることとなりました。学会ウェブサイトに加えて、会員間のネットワーク向上を図る新たなツールとして期待されます。

6. Yahoo Japan の ID 流出

事務局が使用している ID は流出していないものの、院生会員用の ID が流出したことが判明しました。後者に関しては、院生会員を対象としたメーリング・リストの管理を目的としており、情報流出は確認されておりません。当事案を踏まえまして、Yahoo Japan が提唱するセキュリティー強化策を実施いたします。

《編集後記》

研究費や海外渡航費、出版助成など、若手会員への支援策の強化を検討しております。具体的なご提案などがございましたら、事務局までお知らせください。(兵頭)

ロシア・東欧学会ニュースレター 第 27 号 (2013 年 9 月発行)

《発行》ロシア・東欧学会事務局 事務局長 兵頭慎治 広報委員 岡田美保

郵便物送付先：〒153-8648 東京都目黒区中目黒 2-2-1 防衛研究所 兵頭慎治研究室気付
E-mail : jarees_office@yahoo.co.jp HP : <http://www.gakkai.ac/roto/>
ゆうちょ銀行（加入者名：ロシア・東欧学会）：
郵便局での払込：00150-8-177731 他行からの送金：019 店 当座預金 0177731